

スマートフォン向け制御アプリケーション

IQ

MSD-501 / MSD-502 / MSD-701 / MSD-702
MSD-5401 / MSD-5402 / MSD-5403 / MSD-5404
MSD-5401SL / MSD-5402SL
MSD-6203 / MSD-6204 / MSD-6206 / MSD-6208
MSD-701AMP
MSD-701UHD / MSD-702UHD / MSD-801UHD / MSD-802UHD
MSD-S51/ MSD-S52/ MSD-S71/ MSD-S72

取扱説明書 Ver.1.0.0



商標について

- Microsoft® .NET は、お客様、情報、システムおよびデバイスを繋ぐソフトウェアです。
- 本書中の弊社で提供するソフトウェアは、Microsoft .NET Framework に基づくアプリケーションです。
- iPhone、iPad、App Store は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc.の商標です。
- iOS は、Apple Inc.の OS 名称です。iOS は、Cisco Systems, Inc.またはその関連会社の米国およびその他の国における登録商標または商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- Android、Google Play は、Google LLC の商標です。
- その他、記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。
なお、本文中において、®マークや™マークを省略している場合があります。

この取扱説明書をお読みいただく前に

- この取扱説明書の無断転載を禁じます。
- お客様がお持ちの製品のバージョンによっては、この取扱説明書に記載される画面構成、メニューおよび画面表示などが一部異なる場合がありますのでご了承ください。
- 取扱説明書は改善のため、事前の予告なく変更することがあります。

著作権について

本アプリケーションの著作権は、株式会社アイ・ディ・ケイが保有します。お客様は、いかなる理由においても本アプリケーションの改造や譲渡、販売および再配布はできません。

保証の範囲について

弊社から提供するアプリケーションは、無償でご利用いただけます。ただし、これらのアプリケーションには製品保証が付帯しません。また、アプリケーションの更新・問い合わせの対応をしておらず、弊社都合により提供を停止することがあります。万一、問題が起きましても弊社では一切の責任を負いかねます。

目次

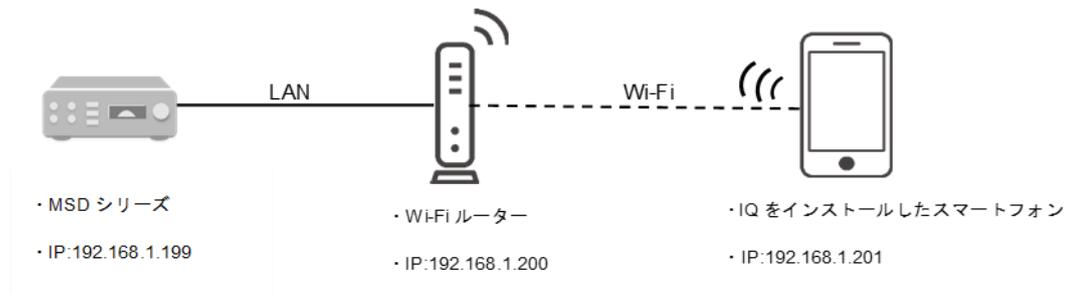
1	IQ とは	5
1.1	動作環境	5
2	はじめに	6
2.1	IQ をインストールする前に	6
2.2	インストールとアンインストール	6
2.3	起動	6
3	設定メニュー	7
3.1	メニューの表示方法	7
3.2	メニューの構成	8
3.2.1	ベーシックメニュー	9
3.2.2	アドバンスメニュー	9
4	操作	10
4.1	接続設定ページ	10
4.1.1	登録されたデバイス	11
4.1.2	マニュアル接続	12
4.1.3	デモモード	13
4.2	出力ページ	14
4.3	音声入力ページ	17
4.4	プリセット読出ページ	18
4.5	クロスポイント読出ページ	19
4.6	テストパターンページ	20
4.7	登録コマンド読出ページ	21
4.8	映像設定ページ	22
4.8.1	ビデオフリーズ設定	23
4.8.2	ビットマップ設定	24
4.9	HDCP 設定ページ	25
4.10	解像度設定ページ	26
4.11	設定ページ	27
4.11.1	デバイス設定の変更	28
4.11.2	入力設定の変更	30
4.11.3	出力設定の変更	32
4.12	バージョン	34
5	IQ の終了	35

1 IQ とは

IQ とは、スマートフォンを用いて MSD シリーズを制御するためのスマートフォン専用のアプリケーションです。

MSD シリーズに LAN 接続された Wi-Fi ルーターへスマートフォンを接続することによって機器を制御します。

IQ を使用することで、対応している MSD シリーズの入力チャンネル選択などの操作ができます。



【図 1.1】 接続例

1.1 動作環境

IQ を操作するためのスマートフォンの動作環境は次の通りです。

【表 1.1】 OS、スマートフォンの対応表

項目	内容
OS	iOS バージョン 9.0 以上、Android バージョン 5.0 以上
機種	iPhone、iPad、Android スマートフォン

2 はじめに

2.1 IQ をインストールする前に

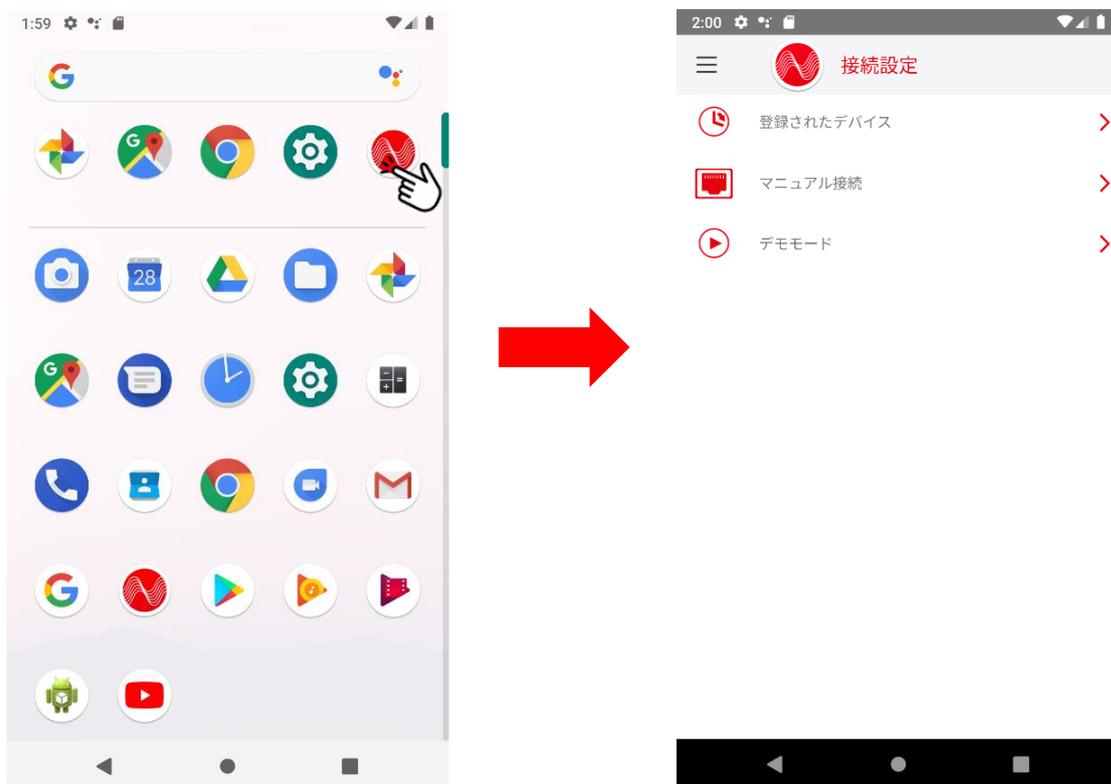
MSD シリーズ、Wi-Fi ルーターおよびシンク機器を接続し、各機器の電源を投入してください。
次に、MSD シリーズで使用する LAN 通信の設定をしてください。

2.2 インストールとアンインストール

IQ のインストールは、App Store・Google Play からできます。
アンインストールは、お使いのスマートフォンの手順に応じてアンインストールしてください。

2.3 起動

IQ のアイコンをタップします。
IQ が起動し、接続設定ページが表示されます。



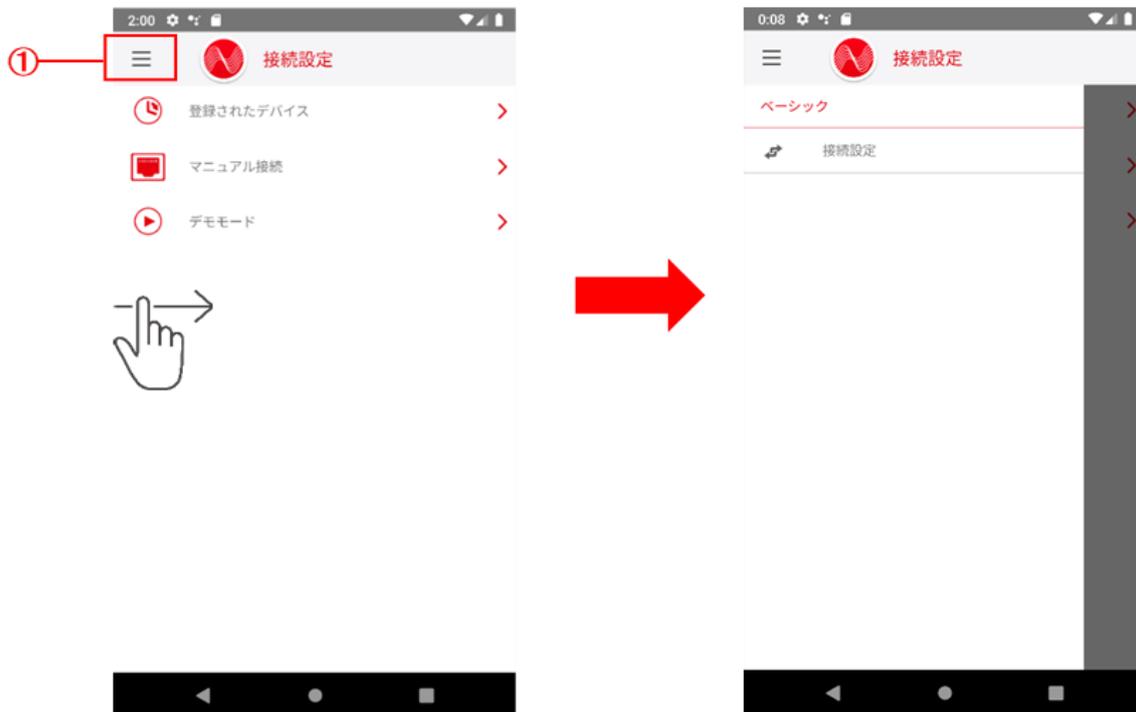
[図 2.1] アプリケーション起動手順例

3 設定メニュー

本章では、メニューの概要、構成について説明します。

3.1 メニューの表示方法

メニューは、画面左上のメニューアイコン (①) をタップします。
または、画面を左端から右に向かってスワイプすることで表示できます。



[図 3.1] メニュー表示手順

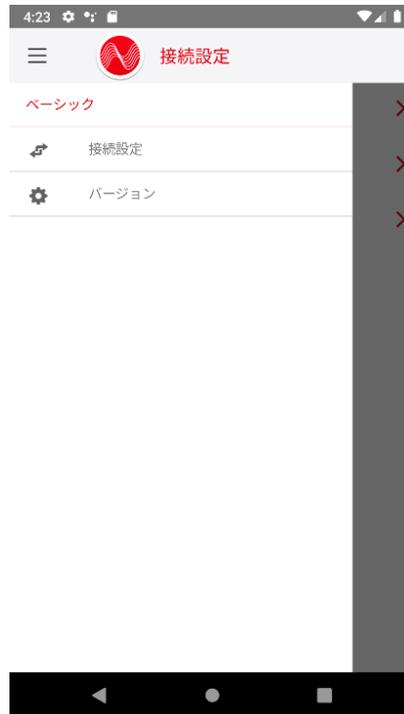
3.2 メニューの構成

メニューは、基本的な設定を行う [ベーシック] メニューと詳細な設定を行う [アドバンス] メニューから構成されます。

また、機器に接続されていない状態では、[ベーシック] メニューの [接続設定]、[バージョン] のみ表示されます。



[図 3.2] 接続時メニュー



[図 3.3] 未接続時メニュー

3.2.1 ベーシックメニュー

[ベーシック] メニューは以下の項目から構成されます。

[表 3.1] ベーシックメニュー表

項目	説明	参照ページ
接続設定	機器への接続方法を選択します。	P.10
出力	入力チャンネルの選択や、音声を設定できます。	P.14
音声入力	音声の入力音量を設定できます。	P.17
設定	各項目を設定できます。	P.27
バージョン	IQ のバージョンを確認できます。	P.34

3.2.2 アドバンスメニュー

[アドバンス] メニューは以下の項目から構成されます。

[表 3.2] アドバンスメニュー表

項目	説明	参照ページ
プリセット読出	機器に保存された設定内容を読み出します。	P.18
クロスポイント読出	機器に保存されたクロスポイントを読み出します。	P.19
テストパターン	テストパターンを設定できます。	P.20
登録コマンド読出	機器に登録されたコマンドを実行できます。	P.21
映像設定	ビデオフリーズ、ビットマップを設定できます。	P.22
HDCP 設定	入出力の HDCP を設定できます。	P.25
解像度設定	入出力の解像度を設定できます。	P.26

4 操作

本章では、各ページの操作について説明します。

4.1 接続設定ページ

[接続設定] ページでは、[登録されたデバイス]、[マニュアル接続]、[デモモード] から接続方法を選択できます。



[図 4.1] 接続設定ページ

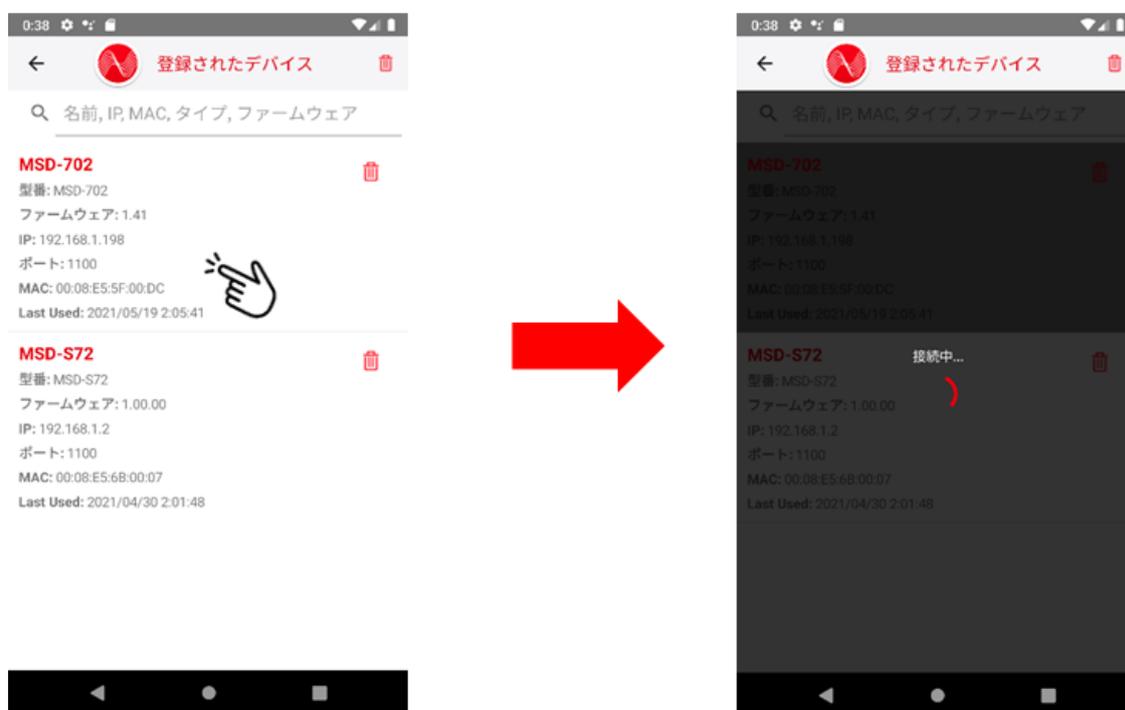
[表 4.1] 接続設定ページ項目表

項目	説明	参照ページ
登録されたデバイス	一度接続した機器から選んで接続します。	P.11
マニュアル接続	IP アドレスとポート番号を指定して接続します。	P.12
デモモード	機器を使用せずにアプリの動作を確認できます。	P.13

4.1.1 登録されたデバイス

[登録されたデバイス] ページでは、一度接続したことのある機器の情報がリストで表示されます。

手順 接続：リストから項目をタップ
 削除：ゴミ箱アイコンをタップ



[図 4.2] 接続の手順



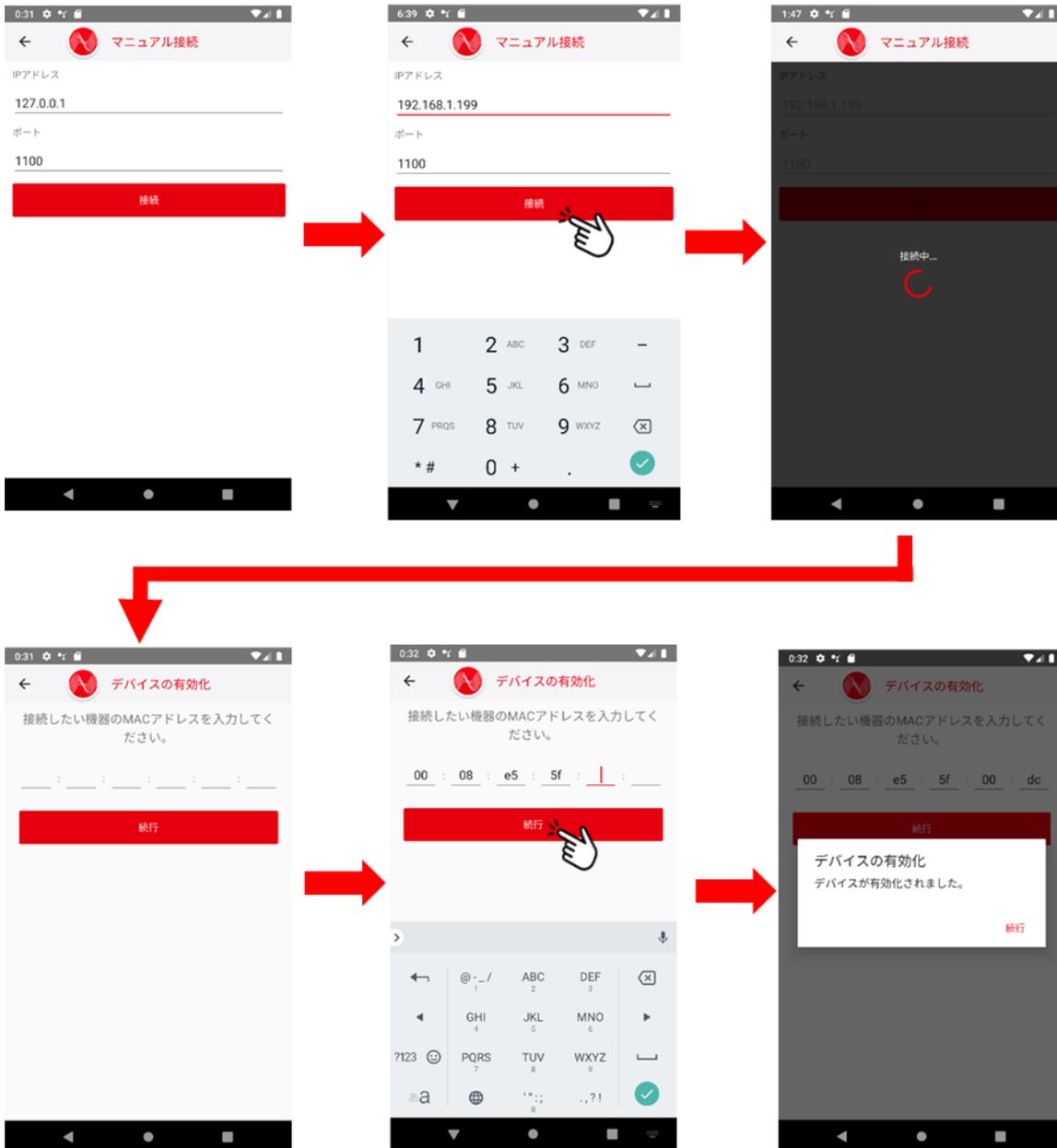
[図 4.3] 削除の手順

4.1.2 マニュアル接続

[マニュアル接続] ページでは、機器に設定した IP アドレス、ポート番号を指定して接続できます。
[デバイスの有効化] がされることで、[登録されたデバイス] に項目が追加されます。

【参照：4.1.1 登録されたデバイス (P.11)】

手順 [IP アドレス]、[ポート] 番号入力 → [接続] ボタンをタップ
→ [MAC アドレス] 入力 → [続行] ボタンをタップ
※有効化のされているデバイスでは [MAC アドレス] の入力が省略されます。

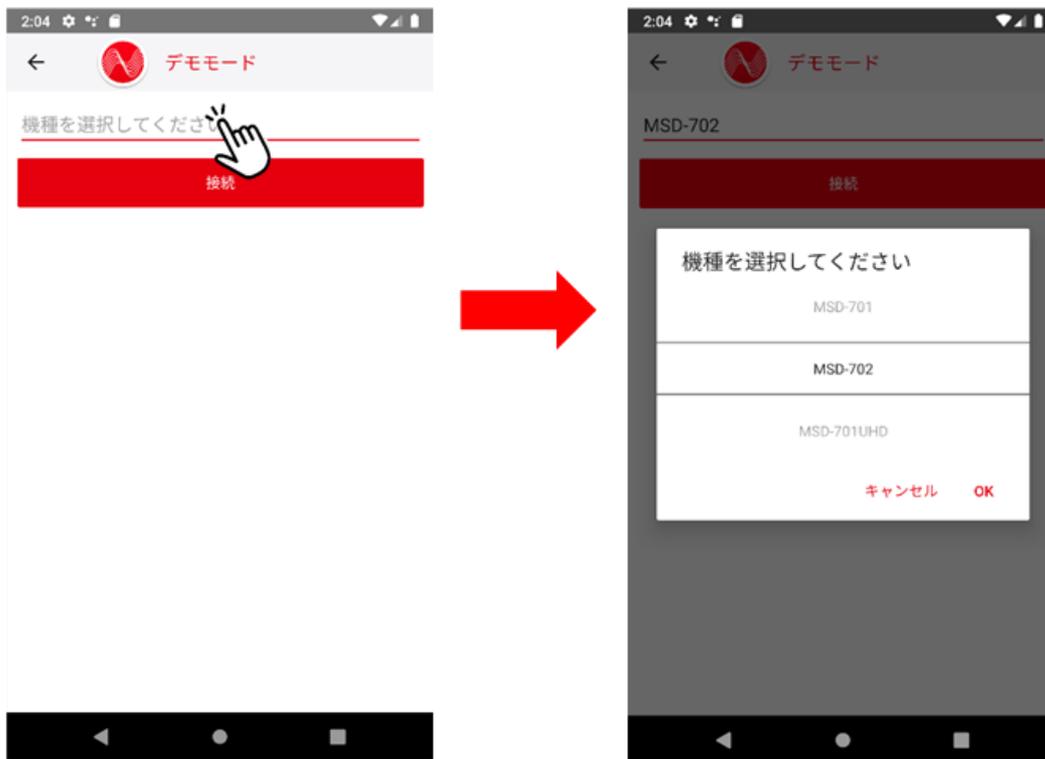


[図 4.4] マニュアル接続順

4.1.3 デモモード

[デモモード] ページでは、アプリのデモ用として機器を使用せずに基本操作の確認をすることができます。

手順 [機種を選択してください] と表示されているエリアをタップ
→ リストから機器を選択 → [接続] ボタンをタップ



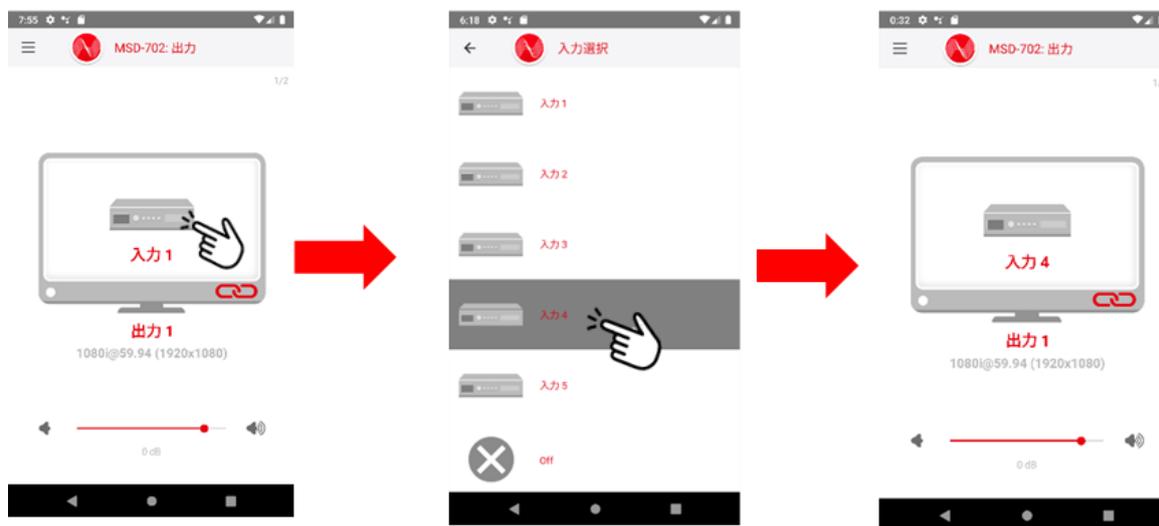
[図 4.5] デモモード接続手順

4.2 出力ページ

[出力] ページでは、出力の入力信号選択、出力音声レベル、ミュートの操作ができます。

■ 出力映像切替

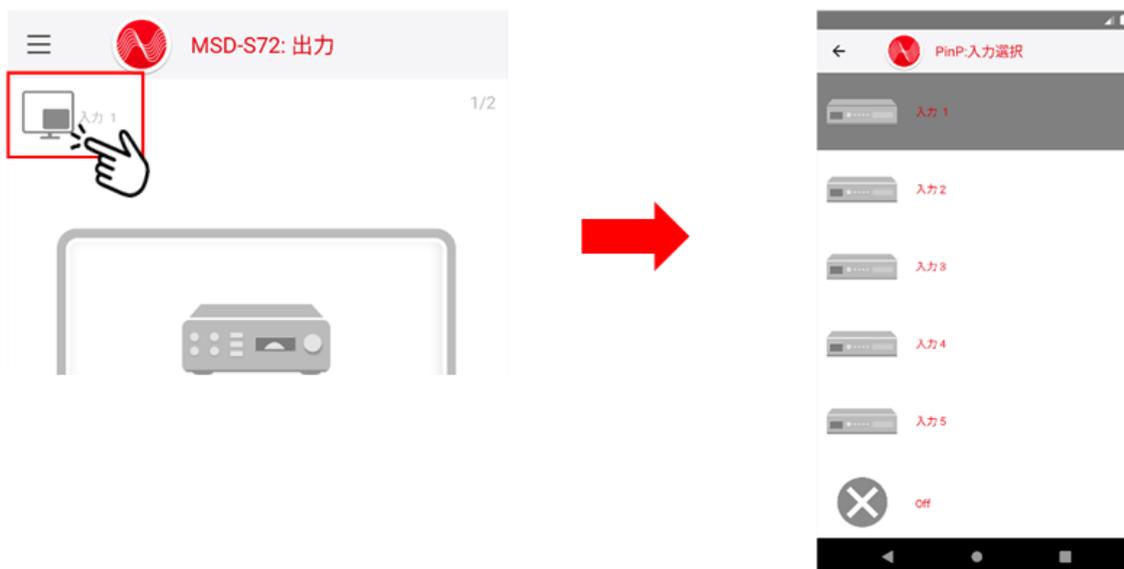
手順 デバイスのアイコンをタップ → [入力選択] ページから [入力 x] (入力数) をタップ



[図 4.6] 出力映像切替

※PinP 機能のある機種では画面左上のモニタのアイコンから PinP 出力の入力信号の選択ができます。

手順 モニタのアイコンをタップ → [入力選択] ページから [入力 x] (入力数) をタップ



[図 4.7] PinP 出力映像切替

■ 切換モード

リンクボタンで、[映像] と [音声] の切換が可能になります。

手順 リンクボタンをタップ

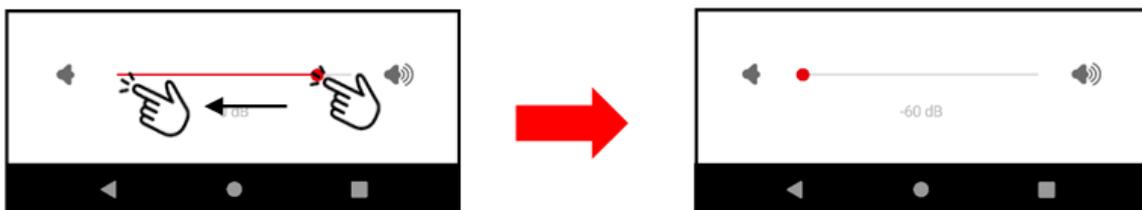


[図 4.8] リンクボタンの操作

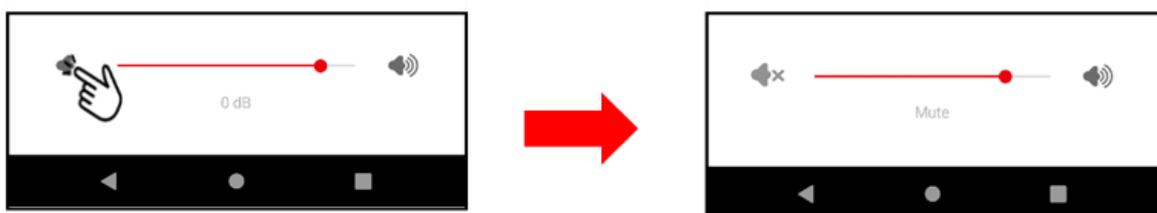
■ 出力音声設定

音声出力レベルの調整と、ミュート（消音）の設定ができます。

手順 音声出力レベルの調整 : スライダーバーを右に移動させるとレベルが上がります。
 スライダーバーを左に移動させるとレベル下がります。
 ミュートの設定 : スピーカーアイコンをタップ



[図 4.9] 音声出力レベルの操作

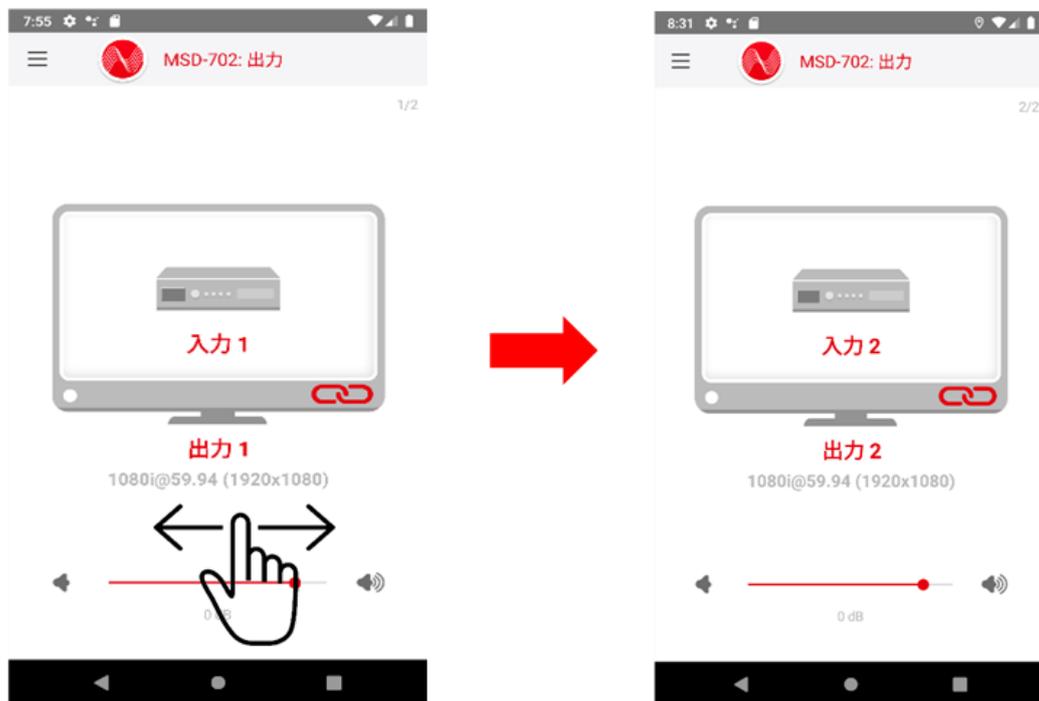


[図 4.10] 音声ミュートの操作

■ 設定する出力の切換

設定する出力の切換ができます。

手順 [出力] ページをスワイプ

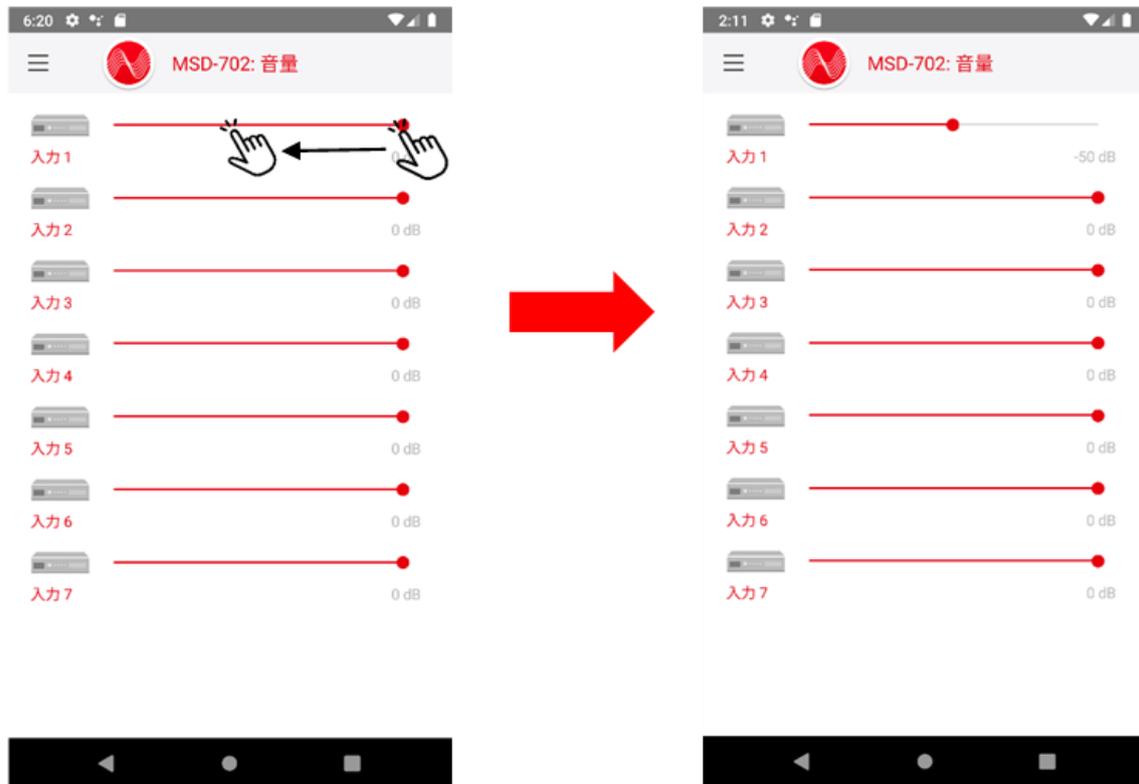


[図 4.11] 設定する出力の切換

4.3 音声入力ページ

[音声入力] ページでは、音声入力レベルの設定ができます。

手順 スライダーバーを右に移動させるとレベルが上がります。
スライダーバーを左に移動させるとレベル下がります。

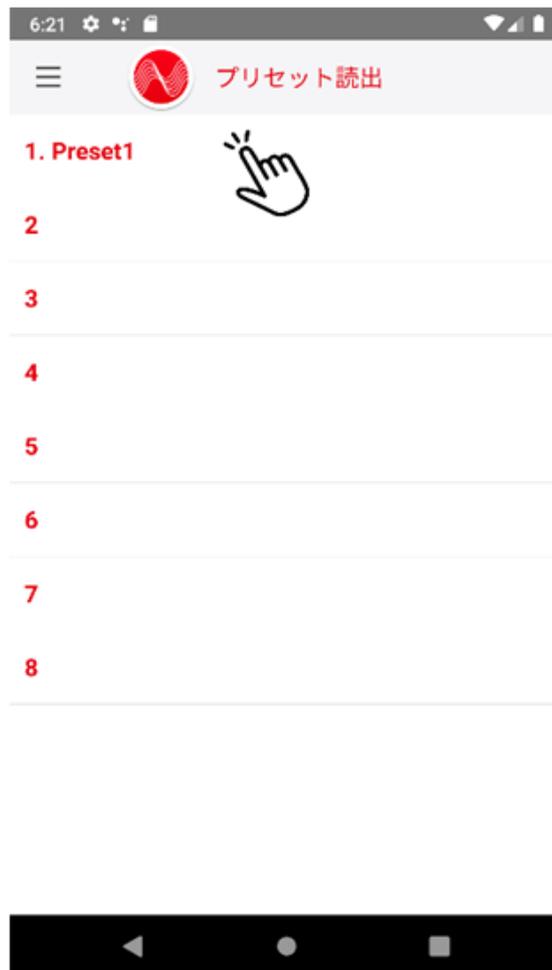


[図 4.12] 音声入力レベルの操作

4.4 プリセット読出ページ

[プリセット読出] ページでは、機器にプリセットメモリが保存されているとき、設定内容を読み出します。

手順 リストから項目をタップ

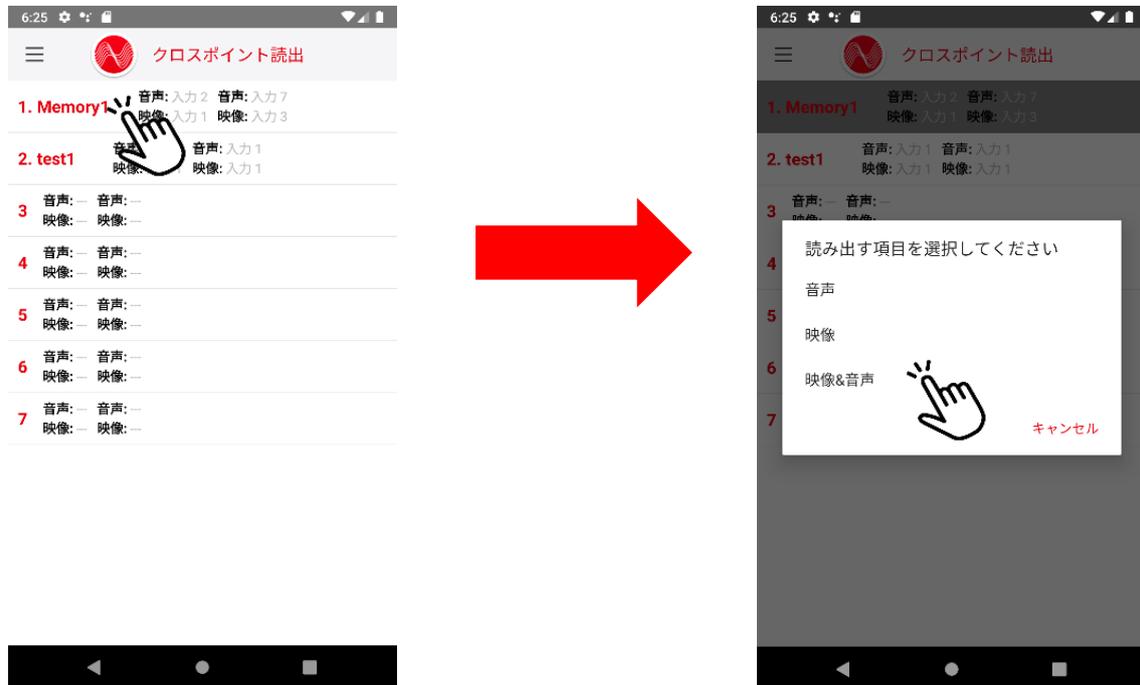


[図 4.13] プリセット読み出し操作

4.5 クロスポイント読出ページ

[クロスポイント読出] ページでは、機器にクロスポイントが保存されているとき、[映像]/[音声]/[映像&音声] から選んでクロスポイントを読み出します。

手順 リストから項目をタップ → ポップアップから読み出す項目をタップ。



[図 4.14] クロスポイント読み出し操作

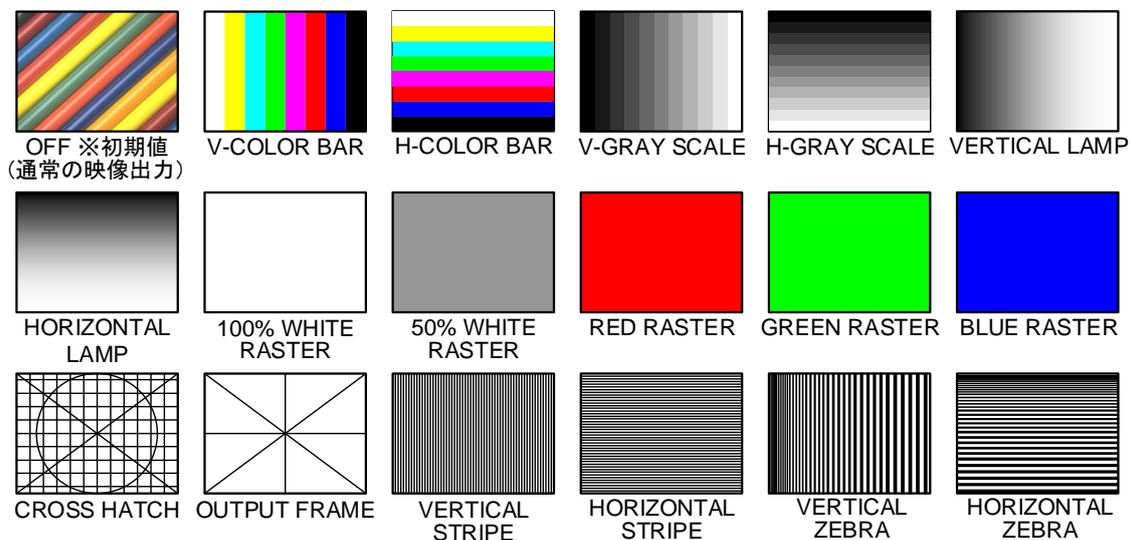
4.6 テストパターンページ

[テストパターン] ページでは、テストパターンの設定ができます。

- 手順 テストパターン選択 : [出力 x] (出力数) → テストパターンをタップ
 スクロールの設定 : [SCROLLING] ボタンをタップ (ON : 緑色 OFF : 灰色)



[図 4.15] テストパターン設定の操作

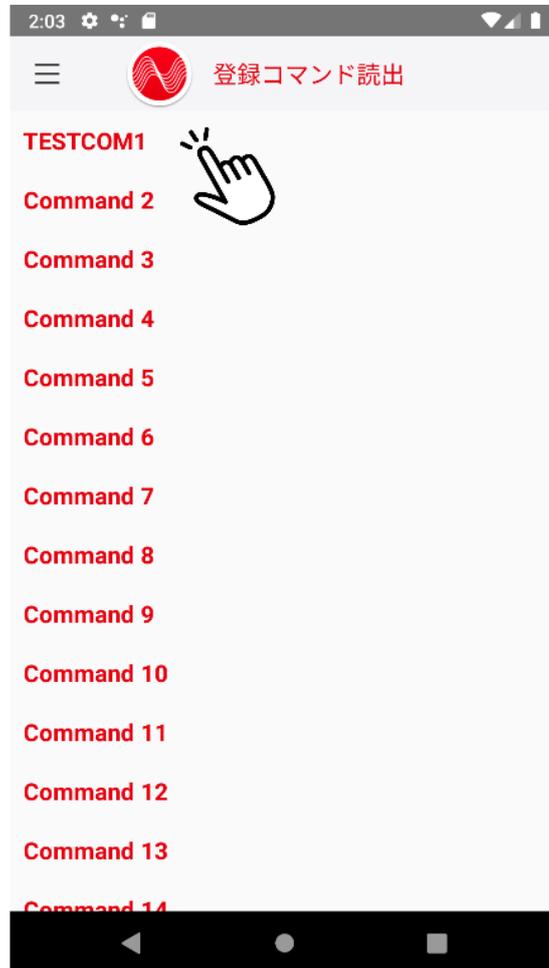


[図 4.16] テストパターンイメージ

4.7 登録コマンド読出ページ

[登録コマンド読出] ページでは、機器に制御コマンドが保存されているとき、制御コマンドの実行ができます。

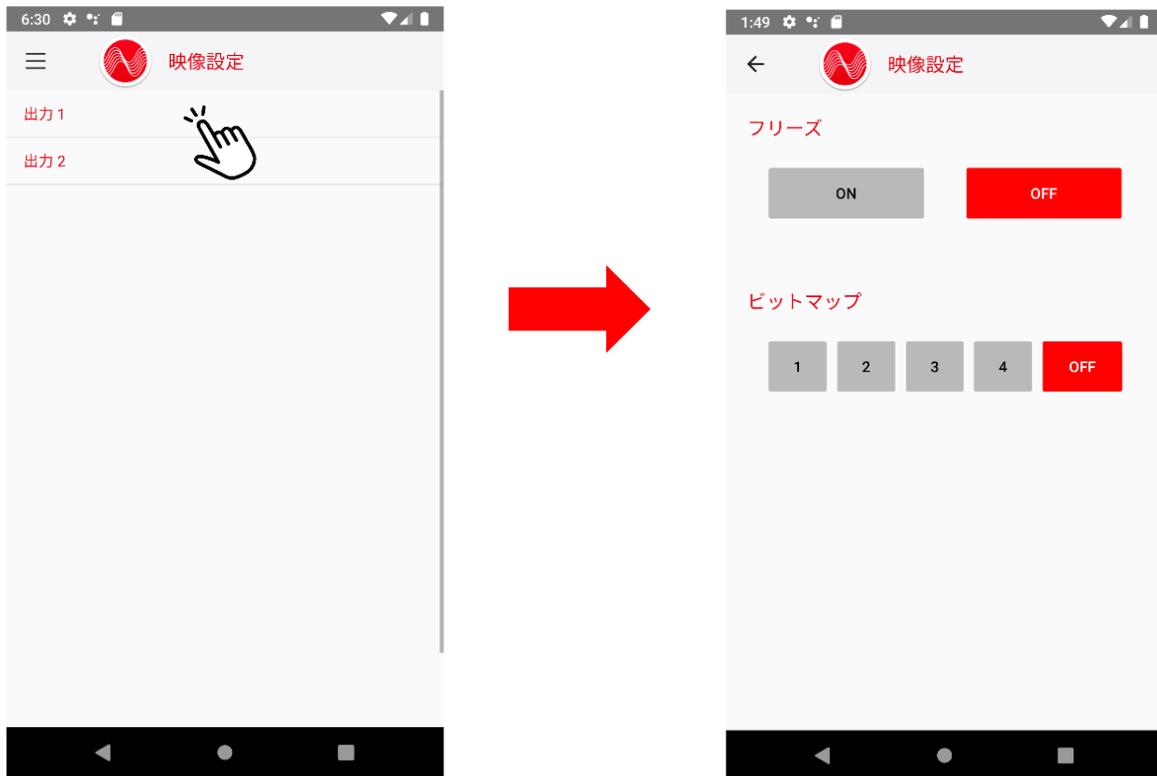
手順 実行したい登録コマンドをタップ



[図 4.17] 登録コマンド読み出しの操作

4.8 映像設定ページ

[映像設定] ページでは、各出力の[フリーズ]、[ビットマップ] の設定ができます。

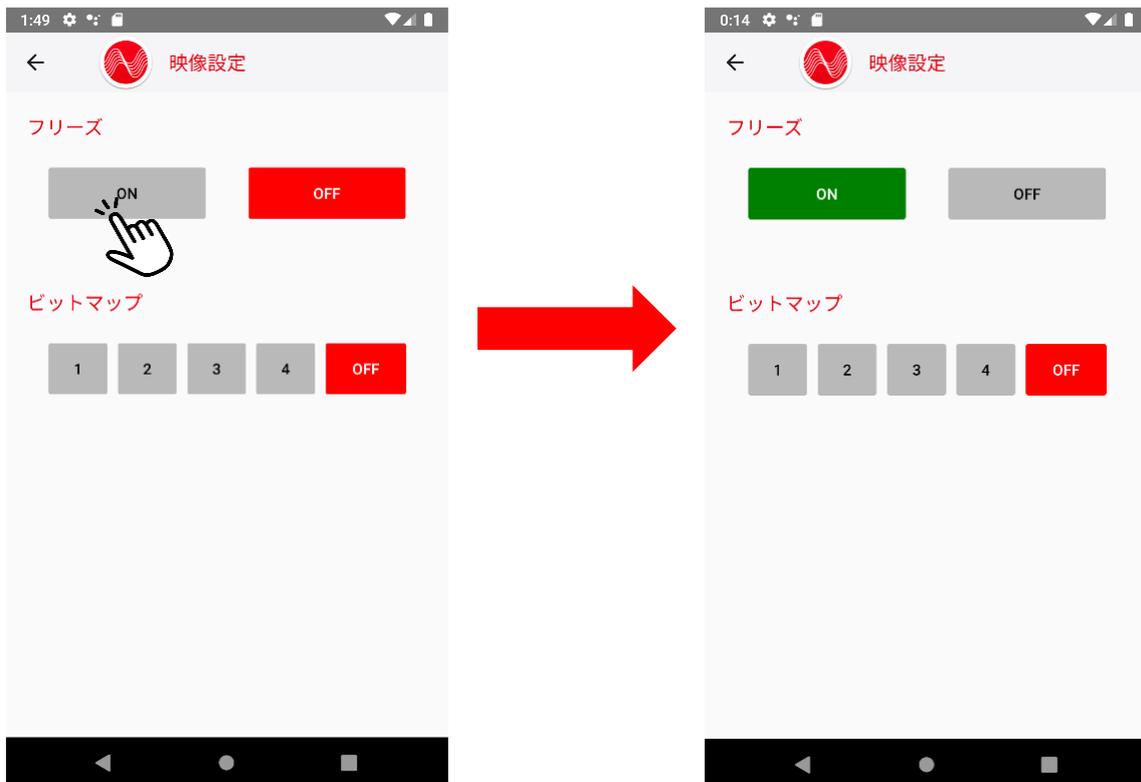


[図 4.18] 映像設定ページの操作

4.8.1 ビデオフリーズ設定

[フリーズ] 項目の [ON]、[OFF] ボタンでビデオフリーズの設定ができます。

手順 [ON] ボタンをタップすると、入力された映像がフリーズします。
[OFF] ボタンをタップすると、フリーズが解除され、入力映像が通常通り出力されます。
また、入力チャンネルの切換を行った場合もフリーズが解除されます。



[図 4.19] ビデオフリーズの操作

4.8.2 ビットマップ設定

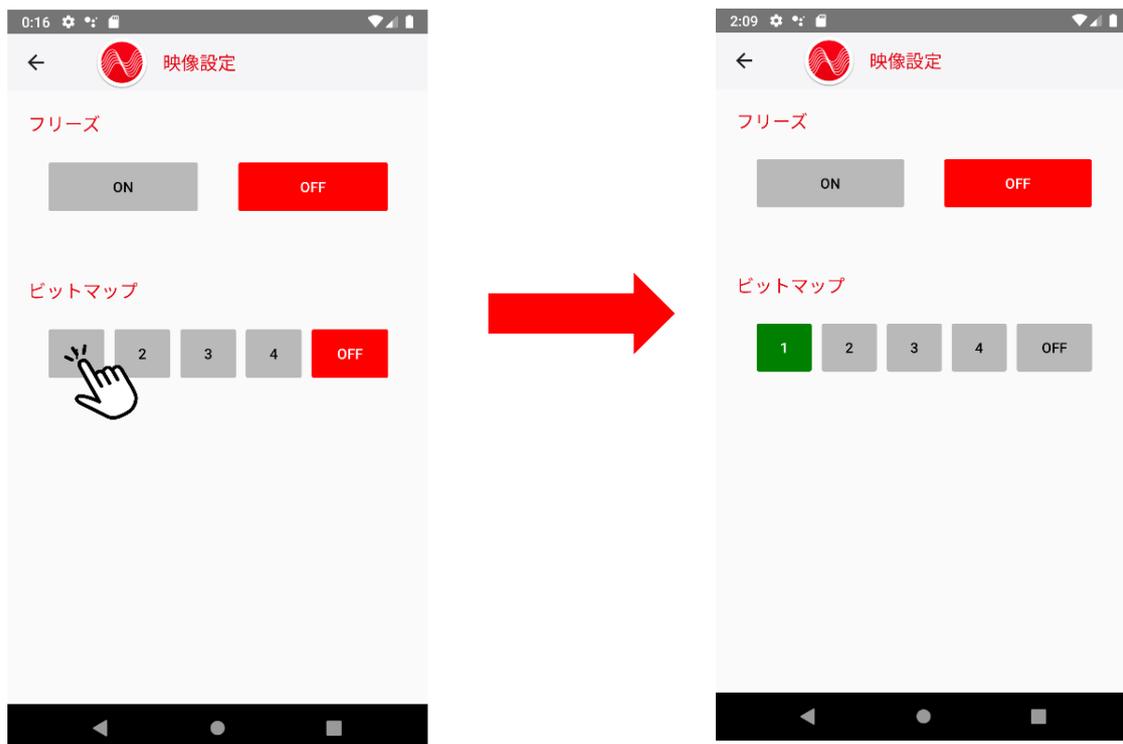
[ビットマップ] 項目のボタンでビットマップ出力の ON / OFF ができます。

※ビットマップが保存された番号のみ選択できます。

※一部機器の機能であるオーバーレイビットマップの操作はできません。

手順 [1] ~ [4] ボタンをタップすると、ビットマップ出力が ON になります。

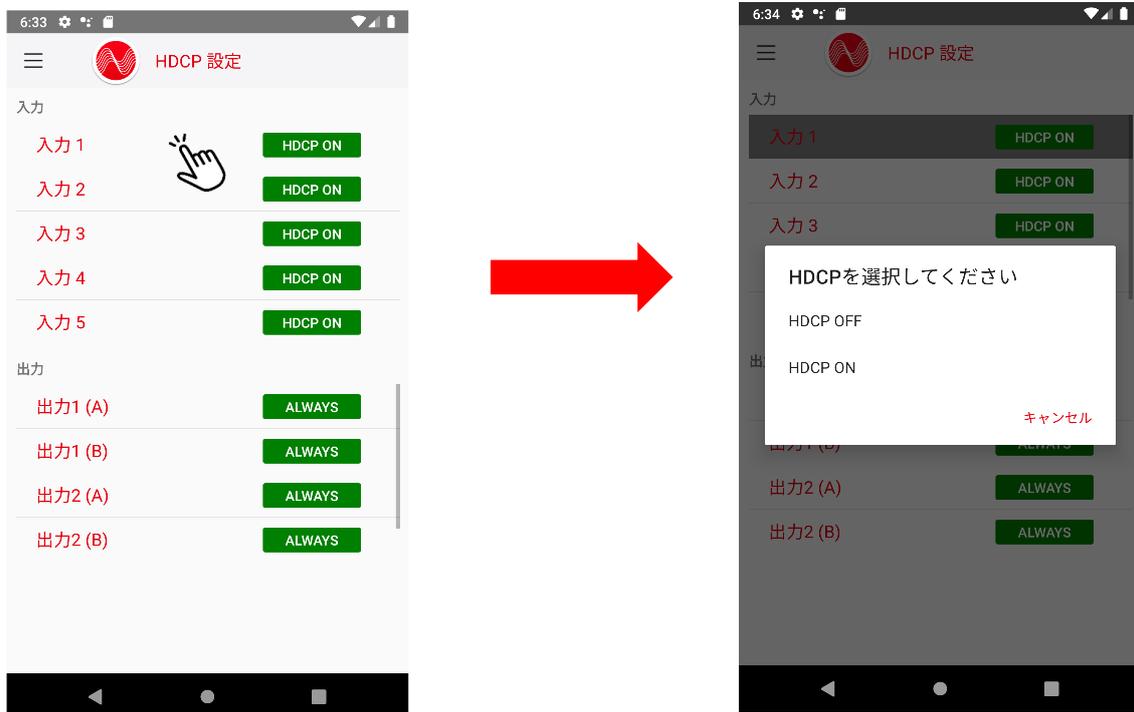
[OFF] ボタンをタップすると、ビットマップ出力が OFF になります。



[図 4.20] ビデオマップ設定の操作

4.9 HDCP 設定ページ

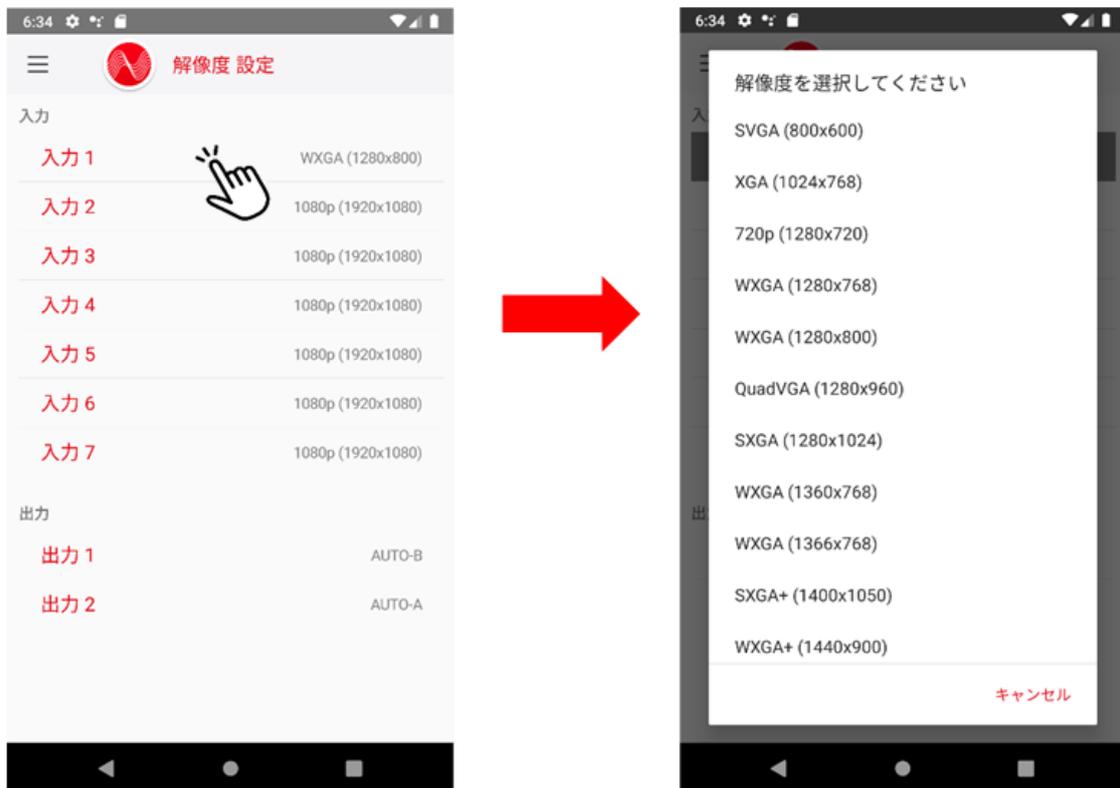
[HDCP 設定] ページでは、各入出力の HDCP を設定できます。



[図 4.21] HDCP 設定の操作

4.10 解像度設定ページ

[解像度設定] ページでは、各入出力の解像度の設定ができます。



[図 4.22] 解像度設定の操作

4.11 設定ページ

[設定] ページでは、デバイス名、入力名、出力名、入出力デバイスのイメージをそれぞれ設定ができます。



[図 4.23] 設定ページ

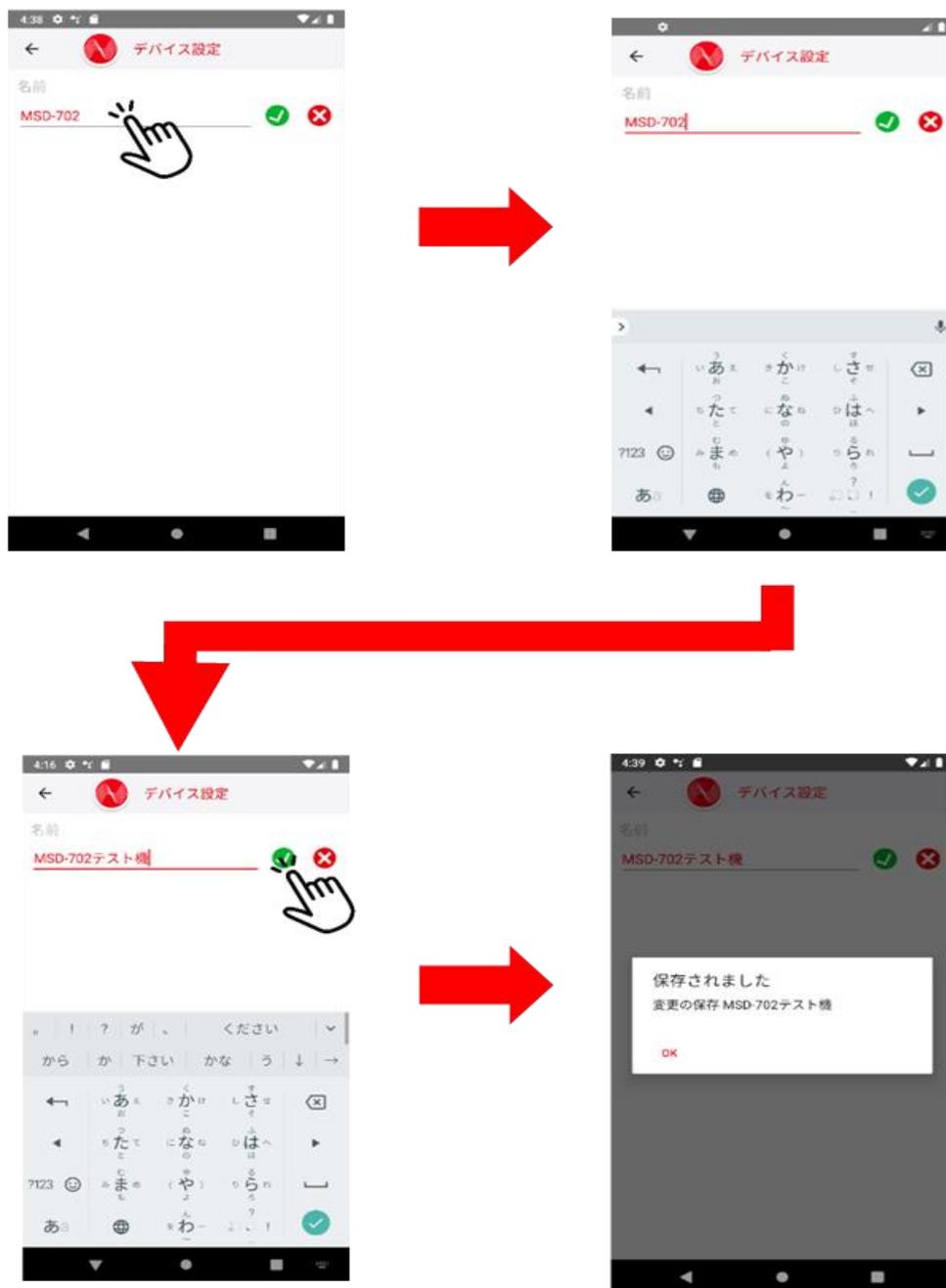
[表 4.2] 設定ページ項目表

項目	説明	参照ページ
デバイス設定	デバイスの設定の変更ができます。	P.28
入力設定	各入力の設定の変更ができます。	P.30
出力設定	各出力の設定の変更ができます。	P.32

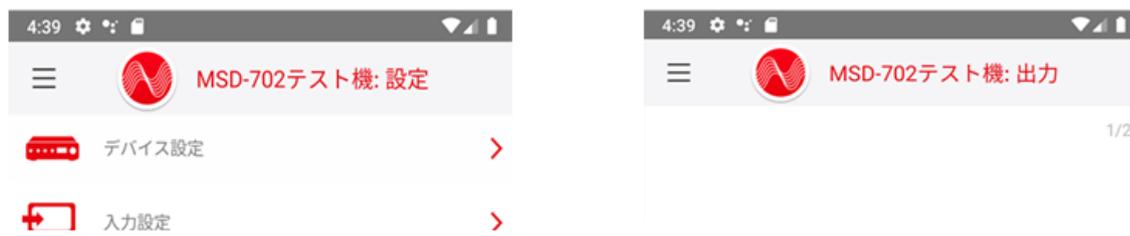
4.11.1 デバイス設定の変更

デバイスの名称を設定することができます。(最大 15 文字)
 変更された名称は各ページに反映されます。

- 手順** 名称のテキストエリアをタップ → キーボードを表示して名称の変更ができます。
 [×] アイコンをタップ → 入力の取り消しができます。
 [✓] アイコンをタップ → 変更が保存されます。



[図 4.24] デバイス設定の変更手順



[図 4.25] デバイス設定変更後のタイトルバー例

4.11.2 入力設定の変更

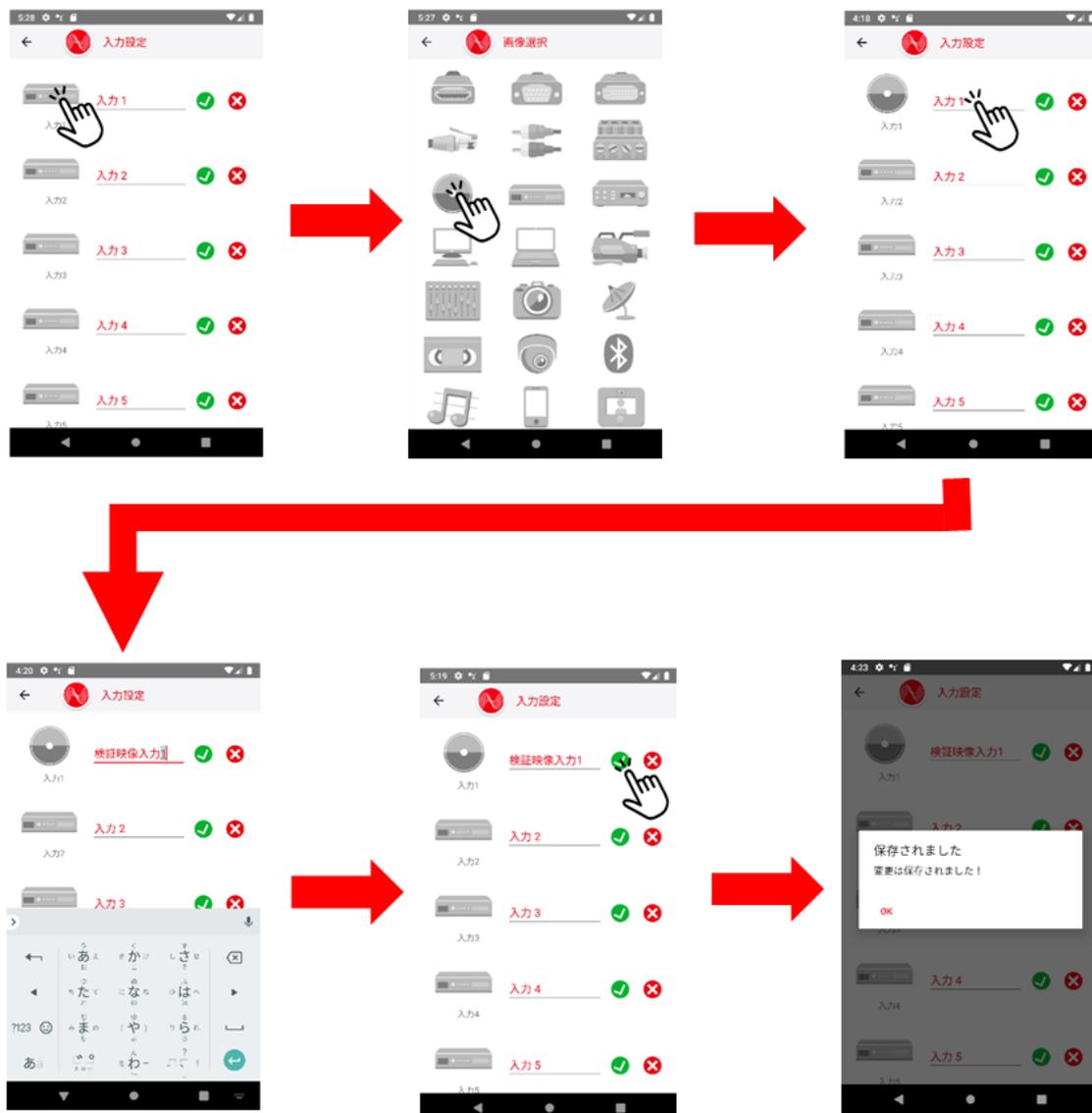
入力ごとに、入力デバイスイメージ、名称を設定することができます。(最大 15 文字)
変更された名称は各ページに反映されます。

手順 入力デバイスイメージをタップ → [画像選択] ページから任意の画像をタップ → 入力デバイスイメージの変更ができます。

名称のテキストエリアをタップ → キーボードを表示して名称の変更ができます。

[×] アイコンタップ → 入力の取り消しができます。

[✓] アイコンをタップ → 変更が保存されます。



[図 4.26] 入力設定変更手順



[図 4.27] 入力設定変更後の出力ページ、入力選択ページ

4.11.3 出力設定の変更

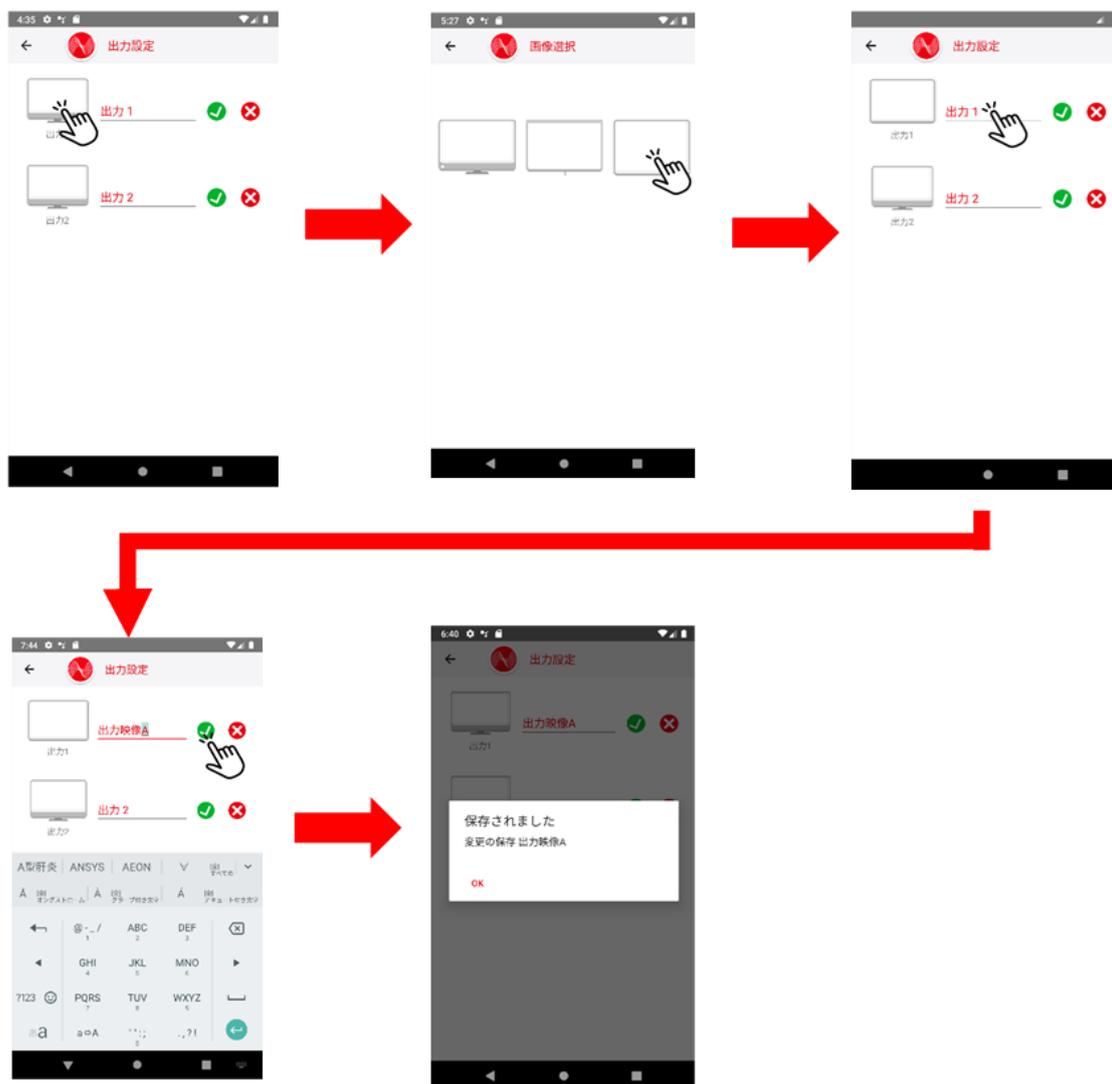
出力ごとに、出力デバイスイメージ、名称の設定ができます。(最大 15 文字)
変更された名称は各ページに反映されます。

手順 出力デバイスイメージを → [画像選択] ページから任意の画像をタップ → 出力デバイスイメージが変更できます。

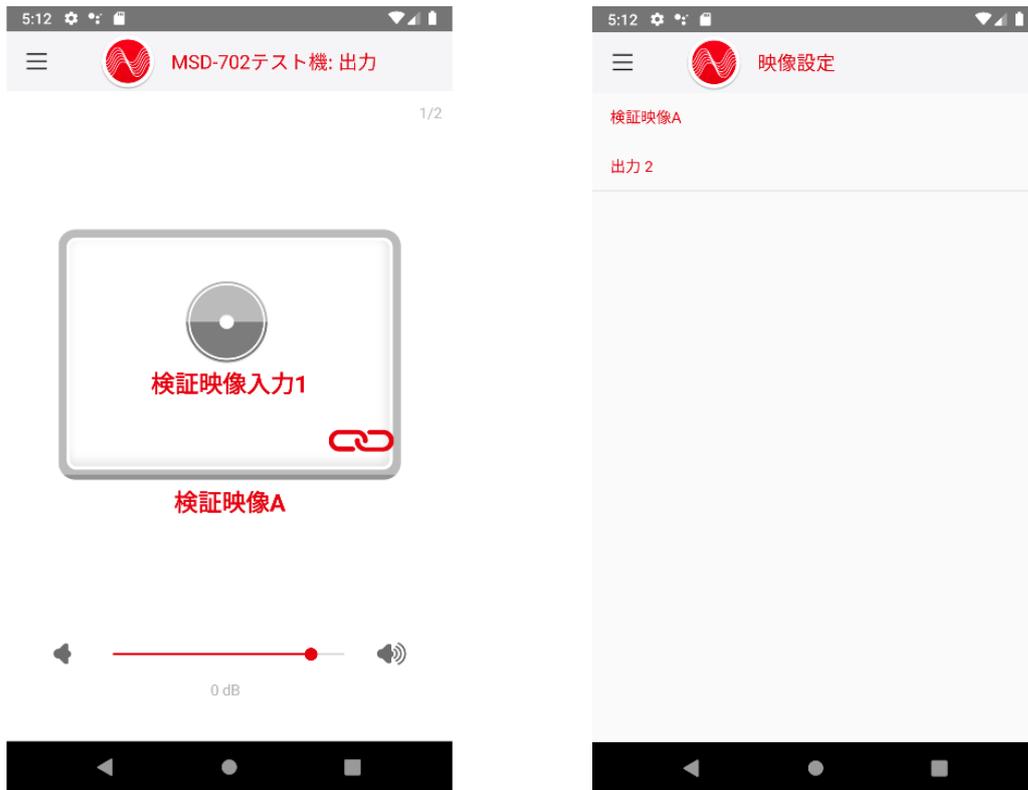
名称のテキストエリアをタップ → キーボードを表示して名称の変更ができます。

[×] アイコンをタップ → 入力の取り消しができます。

[✓] アイコンをタップ → 変更が保存されます。



[図 4.28] 出力設定変更手順



[図 4.29] 出力設定変更後の出力ページ、映像設定ページ

4.12 バージョン

バージョンページでは、IQ の現在のバージョンを確認できます。



[図 4.30] バージョンページ

5 IQ の終了

IQ の終了はお使いのスマートフォンのアプリ終了手順に従って、終了してください。

IQ 取扱説明書

Ver.1.0.0

発行日 2021 年 07 月 29 日



株式会社 アイ・ディ・ケイ

本 社 〒242-0021 神奈川県大和市中央 7-9-1
TEL (046) 200-0764 FAX (046) 200-0765

関西営業所 〒564-0063 大阪府吹田市江坂町 1-23-5 大同生命江坂第 2 ビル 5 階
TEL (06) 6192-0764 FAX (06) 6192-0906

九州営業所 〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前 4-9-2 八百治センタービル 3 階
TEL (092) 431-0764 FAX (092) 431-0906

E メールアドレス info@idk.co.jp ホームページ www.idk.co.jp